

稲城市ボッチャ大会申し合わせ事項

1 競技規則

本大会は、「日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v.2」及び大会申し合わせ事項によって実施します。（日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v.2 は、市ホームページに掲載しています。）

2 競技方法

- ・団体戦で実施します。
- ・クラスの区分は行いません。
- ・1チーム3～6人とし、1エンドに3人の選手がでます。エンド途中での選手交代は認めず、第2エンドに変わる時に選手交代をすることができます。

3 使用コート・ゲーム数・時間

- ・コートは東京都市町村ボッチャ大会仕様とします。
- ・使用コート：メインアリーナ 10面（予定）
- ・1ゲーム：2エンド
- ・持ち時間の制限は設けませんが、スムーズな試合進行にご協力をお願いします。
- ・練習投球：各ゲーム第1エンド開始前に、1人2球投球することができます。第2エンドに入るときは、練習投球はありません。
- ・ボールの色（先攻・後攻）は、代表者同士のジャンケンによって決めるものとします。

4 タイブレイク（同点時の延長戦）

- ・タイブレイクは、第1エンドは実施せず、第2エンド終了時に合計点が同点の場合に実施します。
- ・各チームの代表者1名が、中央のジャックボールを目標に1球ずつ投球し、より近付けられた方が勝利とします。
- ・代表者の投球順は、代表者同士のジャンケンによって決定とします。

5 ボールの投球について

- ・ボール投球時、スローイングボックスラインに触れている場合、審判から口頭注意をします。スローイングボックスラインを踏んだまま投球されたボールは無効とし、審判によって取り除いた上で、再投球します。（ペナルティスローは行いません。）
- ・ボールは、投球する選手のみが触れることができます。自身のチームの投球順であっても、投球する選手以外の選手は、ボールに触れることは認められません。投球者以外がボールに触れていた場合、審判から口頭注意をします。同時に複数のボールが投球された場合、そのボールは審判によって選手の元に戻し、投球のやり直しとします。

6 コートから出たボール

- ・全てのボールは、ラインに触れたりラインを超えたりした場合は、コート外に出たものとみなし、審判によって所定の位置に取り除かれます。

7 補助具等の使用について

- ・補助具の使用、補助員による補助を必要とする場合は、受付時に申し出てください。
- ・投球時にランプを使用する場合、ランプの先がスローイングボックスラインに触れたり、超えてはいけません。
- ・補助員も、スローイングボックス内から出てはいけません。
- ・補助員は、コート内を見てはいけません。

8 コミュニケーションについて

- ・チームメンバー内でのコミュニケーション（会話）は認めますが、相手チームに迷惑となるような言動が見られた場合は、審判から口頭注意をします。